

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2274202528		
法人名	医療法人財団 百葉の会		
事業所名	グループホーム 百葉清水浪漫館 (2階、3階合同)		
所在地	静岡県静岡市清水区高橋2-9-15		
自己評価作成日	平成25年1月31日	評価結果市町村受理日	平成25年3月29日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaijokensaku.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_2013_022_kami=true&amp;JiyosvoCd=2274202528-00&amp;PrefCd=22&amp;VersionCd=022">http://www.kaijokensaku.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_2013_022_kami=true&amp;JiyosvoCd=2274202528-00&amp;PrefCd=22&amp;VersionCd=022</a>
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	有限会社システムデザイン研究所
所在地	静岡市葵区紺屋町5-8 マルシビル6階
訪問調査日	平成25年2月26日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

お客様に寄り添うことを大切にして、ご自分でできることはしてもらい生活にはりをもっていただけるよう支援しています。お客様と共に生きていくことを意識して、現在「笑顔と共に あなたと つくる明日(みらい)」とかかけて、一人一人に合った個別ケアに取り組んでいます。家庭的な雰囲気や大事にして、お客様に楽しく・穏やかにすごしていただけるように心がけています。地域運営推進会議は2ヶ月に1度行い、包括支援センター・自治会・民生委員・ご家族の参加が毎回あり、貴重な意見を頂きグループホーム運営に反映している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

大正ロマンをイメージして建造された建物は、赤と黒のカラーモチーフが印象的で通りからすぐわかるものとなっています。内部にも古民家から取り寄せた、昔懐かしい安寧の空間が広がっています。共用空間には職員意見で実現したものが多く、意欲の高さとチームワークのよさが覗えます。特に、雑巾の干し台設置や、居間における避難場所と避難方法の掲示などは、新規性がみられます。また、事故対策委員会はデイサービス職員とともに取り組み、担当者会議の参加もあるなど、多面的な視点をもつ運営となっています。これらは、管理者をはじめとするリーダーが「相互に注意し合える集団に」との思いが基軸となっていて、職員のフィードバックが活かされていると考えています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者や職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが ○ 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	法人としての運営理念と小規模事業所としての行動指針を作成している。独自のこやまケアの指針も含めて、職員で唱和する機会を設け意識の共有を行っている。	半年ほど前に理念を見直し、職員で話し合い新たな理念をつくりました。職員の声からの取組とのことで、現状をヨシとしない前向きな職員の気持ちが産んだ事柄として、受けとめられます。法人理念とともに自らがつくった愛着ある理念は、毎日唱和しています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	お客様と一緒に買い物やドライブに出かけ日常的な関わりを行っている。地域のイベントなどに参加をして交流をしている。ブログを更新して日常の様子を発信している。	自治会長はじめ地域の皆さんには、離設の利用者の対応にも配慮やアドバイスをもらえる関係が築けています。併設のデイサービスの恩恵を十分受け、ボランティアのレク支援が豊富です。今年度は、来訪のボランティアグループとともに事業所が新聞記事になったこともありました。	運営推進会議内でおこなう講座も好評であることから、地域に向けた介護教室などの開催を期待します。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	主治医を講師に認知症の勉強会を行ったり、会議の中で地域の人たちと現状を確認したり意見を出し合っている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の中では事業所としての取り組みの報告を行い、地域からの話も伺い意見交換している。時期に合わせた話題も出して、地域の一人としても向上に活かせる場としている。	1ヶ月前には開催案内を関係各位に出し、また隔月開催も叶っていて、昨年度の目標を達成しています。また、民生委員2名、地域の社会福祉協議会会長、自治会長など地域メンバーの顔ぶれが豊富なことに特長があります。前回の会議ではパワーポイントで介護保険について説明し、好評を得ています	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議への出席依頼を継続していて、会議の報告を行っている。出席の際には意見をいただき法人として事業所の協力関係は築けている。不明な事などあれば連絡をしている。	地域包括支援センター職員からは地域の状況について具体的な意見が挙がっていて、事業所の運営に役立つ情報を常にもらえています。また、今後は講座など合同で取り組めることがあれば…、との話もでており、地域活性化へ期待がもたれています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	法人の理念から行動指針を通して、身体拘束は行なわないケアの実践に取り組んでいる。施設内での勉強会を行い、自分たちで体験することにより身体拘束をしない必要性を確認している。	日中施錠はなく、エレベーター操作も自由です。そのため、一人で離設してしまう利用者への対応には検討を重ねています。状況設定によるロールプレイング学習も頻繁におこなわれ、認知症の人への言葉がけについての自省の機会もあります。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修の内容などを職員同士で共有している。小さな気づきにも注意をして防止に努めて、お客様のあるがままを受け止めることを大切にしている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	制度の理解と活用というところでの全体での理解は不足している。研修・勉強会の機会を増やし深めたい。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の時などに十分な説明を行っている。不明な点にも理解をいただけるまで丁寧に対応して納得をしていただいている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日常生活の中からお客様には希望などを聞いている。家族には運営推進会議の席や来館時・電話での連絡時などで、意見をいただいたり気がついた事を聞き反映させている。	会社帰りなど夜間の面会も受付けています。年2回の家族会では、食事会を通して家族同士の話も弾み、家族間の交流に役立っています。月1回のお便りは、手書きの手紙を職員が交替で書き送っていて、順次職員と家族が繋がる機会にもなっています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	運営会議・全体会議・部署会議にて連絡・報告をして意見交換を行って議題をもって協議している。委員会活動でも提案を反映している。	管理者と各ユニットリーダーなどの上位者が相互に注意しあえる集団にしよう」という考えをもつことから、フィードバックの文化が自然に育っています。ユニットを2つのグループにわけた4つの小グループでの運営や5つの委員会活動も後押しとなり、職員意見が反映した運営が叶っています	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	法人全体での取り組みとして処遇改善を行っており、働きやすい職場としての整備に努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部・内部研修に取り組んでおり、情報を共有することでケアの向上を図れる体制をとっている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人内で研修・勉強会を行っていて、他事業所との日頃の関わりから連携をとっていて、お互いの情報などから質の向上に取り組んでいる。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居時、ご本人の不安をサポートできるように情報を把握した上で、特に気をつけて関わりをもつようになっている。他のお客様との関係にも良好な関わりをもてるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	見学・入居相談、契約の時から家族から話を聞きお互い理解の上で支援につなげ、来所時・電話で連絡時に日常の様子を伝えている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人・家族から状況・要望を聞いて、配慮した支援を心がけている。落ち着いて生活していただけるように、優先する支援を考慮している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員・お客様に優劣がつくことがないように、互いが共に生活する意識を大切にしている。それぞれに必要なことに支援し、できることは一緒にすることで寄り添う関係となっている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	日頃の生活の様子は来所・電話で伝えている。家族と共に過ごす時間は大切ととらえて、外出・受診・面会時などゆっくり過ごしていただける環境・準備をつくっている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族以外で親戚や知り合いといった訪問者にも柔軟に対応して面会していただいている。地元についても考慮して近隣の地域であればイベントに積極的に参加していただいたり、他方でもドライブで訪れたり関わりをもっている。	家族との関係継続が円滑になるよう努めており、例えば外泊は当日の申し入れにも対応し、衣類や薬などを整え、送り出しています。訪問美容が定期的にあります。好みの美容室へ出掛ける人もいます。年賀状などのお手紙支援もおこなっています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず、利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	お客様間でトラブル・孤立しないように職員が間に入り対応している。各階への移動も職員が見守れるよう声をかけあい自由にできるようにしている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	可能であれば面会で様子を見に行ったり、必要なことには要望をうけたら相談に応じ対応している。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居時に本人・家族から聞かれた話から希望に沿えるよう個別ケアに取り組んでいる。年を重ねたり、病状で変わっていくこともあるので、家族に確認を取りながら本人と話し変更もしている。	個別生活記録に発語をそのまま記録し、情報を共有するとともに、アセスメントに反映させています。こやまケアの理念と豊富な研修の反映なのか、職員は一様に関わりの振舞いに優しさが感じられます。	センター方式の導入も視野に入れているとのことですので、少しずつでも前進があることを期待します。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時から聞いたりして確認をしている情報を管理・共有して、機会を見ながらご家族にも追加の内容などもらい対応している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個別の生活記録を続けていて、嗜好や習慣をとらえるよう日常のことや変化することに注目し、些細なことでも関心をもって把握に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	会議の場などで、意見を出し合い介護の仕方を話し合っている。必要に応じ担当者会議を行ない、日頃気になっていることも記録に残し話し合いのうえでケアプランへの反映をしている。	特に変化がなければ3ヶ月に1度の定期見直しで、新たなプランを作成しています。月例部署会議の職員意見でほぼ骨子を固め、のちに計画作成担当者がプラン化し、最終段階でケアマネジャーがチェックをかけるというプロセスを踏んでいます。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の生活記録を続けていて、生活の様子など情報の共有・把握に努めている。変化に注意して申し送りしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	併設のデイサービスなども利用して、事業所全体として幅広く柔軟な対応からの支援に努めている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	事業所に訪れるボランティアの行事に参加をしたり、地域で行われる行事に参加し楽しんでいただいている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医に定期的に往診をしていただいたり、家族に専門医への受診をしていただいております。適切な医療を受けられるよう連携をとり、常に相談できる体制をとっている。	受診の付き添いは原則家族にお願いしていますが、困難な場合は職員が支援しています。受診支援は家族にとっても負担であるためか、従来のかかりつけ医から往診のある協力医に大半が変更しています。併設デイサービスと医療連携して、看護師が隔日毎に状態を確認しています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師に定期的に診てもらっていて、指示を受けたり報告を行なって状態の把握と安全に過ごしていただけるように努めている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時に情報提供を行い、経過の把握に努め家族に連絡をとり確認を行い、退院時の情報収集を行なっている		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	主治医からの話に応じ、ご家族との話し合いを調整し立会い、現状の説明を受けたり終末期の話をして方針の共有をしている。	看取りは今年度はありませんが、重度化している利用者が1名います。家族、医師、事業所の三者で話し合う機会を設け、家族の意向ならびに医師の方針などの確認をおこないました。現在は安定していますが、状況によっては取り組む予定です。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の対応をマニュアル化して、防災などの非常時訓練なども行い実践に対応できるように努めている。備蓄品の管理を行っている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に訓練をしており、地域などもふまえて行えるようにしていきたい。会議の中で現状の把握を行って地域の一員として互いの協力の仕方の確認に取り組んでいる。	炊き出し訓練と搬送訓練をおこなっています。地域の防災訓練には利用者職員とで出かけ、地域の顔見知りの皆さんとの貴重な経験をもちました。共用空間には避難場所と各部屋の利用者への避難支援情報が掲示され、防災への意識の高さを視認しました。	

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人に合った個別ケアに取り組んでおり、お客様一人一人に寄り添うケアを心掛けている。自尊心・羞恥心にも配慮して支援を行っている。	本年は、接遇の、特に電話対応の内部研修に力を入れています。相手が切ってから受話器を置くといった基本マナーを全職員が行うようになるなど変化成長を遂げています。この意識が利用者へのケアサービスにもよりよく反映することが期待されています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	お客様ご本人が、選択し、決定できるような声かけを心掛けている。病状などでできない場合は、以前の好みや習慣をもとに選択をする場合もある。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床時間や、入浴時間などお客様の希望を聞きながら、個々にあった生活を重視し支援している。日頃から会話の中から、何をしたいかなど話を伺い希望にそえるように取り組んでいる。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問美容を利用している。 本人に関心が強いことを大切にして、ご自分の好きな服を選んでいただきいたりして、生活に彩りをもてるように取り組んでいる。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	行事や、誕生日などの企画食の実施。買い物と一緒に掛けた際に好みをもつものを選んでもらったり、行く前に食べたいものをお客様に尋ねてから行っている。	ご飯、汁物、主菜、副菜が2つにデザートもついて、色鮮やかなバランスの良い食事が提供されています。見た目とともに味付けもバラエティに富み、食欲をそそるメニューを職員も間に入り、会話をもちながら楽しく食事ができています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人一人にあった食事量を提供している。食事形態も個々に合わせた配慮を行っている。食事量、水分量を記録に残し職員間で共有している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、個々に実施し清潔保持に努めている。ブラッシングの出来ないお客様には、口腔洗浄剤を使用して頂いている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄委員を中心に一人一人の一日の排泄パターンを記録し職員全体で把握し、介助している。失禁が少なくなる様にトイレ介助を行い、夜間は安眠を妨げない様に誘導を心掛けている。	「できるだけトイレで」を方針として、温かい時期には布パンに切り替えるなど、状態に応じて臨機応変に取り組んでいます。トイレはドアを開けてもすぐには見えないレイアウト(設計)の工夫があります。また、パットなど消耗品は居室にあり、トイレに置いていないことも視認しました。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分量の確保や便通に良い食べ物を食事に取り入れて取り組んでいる。3食の中で、できるだけ一度はヨーグルトを召し上がっていただけるようにしている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	お客様に合わせ、毎日でも入浴出来る環境を作っている。お客様の入りたい時間に配慮して支援を行っている。	入りたい要望があれば出来る限り応じていて、毎日入る利用者もいます。ほとんどの人が1日おきという状況にあります。就寝前でも条件が叶えば対応しています。一人ひとり足拭きマットを替え、清潔保持にも努めています。入浴は職員との会話の時間として大切にしています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人一人に合った入眠時間・ベットや床といった配慮した状況により快適に寝ていただけるような支援を行っている。休みたい時にはいつでもできるような体制をとっている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬管理表を使用し、内服状況を把握している。内服薬の処方箋は、見やすいところの掲示してすぐに確認できようになっている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の好みを重視して支援を行っている。自己主張できない方に対しては、家族の協力を得て情報をもらい支援をしている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	近所のスーパーに買い物に行っているため一緒に出掛けている。希望に沿ってドライブなど外出している。	普段の散歩は事業所の外周程度で、距離はあまりありません。午前には太陽光を浴び、また洗濯干しを習慣とする人もいます。富士川楽座や日本平などへドライブへ出掛ける事もあり、月2回程度のドライブや外食があります。また、誕生日に職員と個別外出することもあります。	

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人がお金を使う機会は少ないが、一部のお客様は、お小遣いをご自分で管理し、季節の食べ物や欲しいものを購入している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人の希望で家族に連絡をして取り次いでいる。年賀状や、ご家族にお手紙を送るよう支援している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	落ち着いた照明を使用し、独自の居心地の良い空間づくりの工夫をしています。季節感の取り入れは工夫していきたい。職員や来所された方など会話も落ち着いたものとして穏やかな場を心掛けています。	窓が大きく日差しが大きく入る空間ですが、風雅のあるブラインドと間接照明により随時の調節ができています。生花はありませんが、光触媒の蘭の花が彩を加えていました。掛け時計、コーナー筆筒など古民家そのままのインテリアは、落ち着きを醸し出す効果があるだろうことが充分感じられます。	毎日の清潔は保たれていると思いますが、目につきにくい箇所や高所の清掃について取り組みを位置付けられることを期待します。
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	各階・自室への移動は自由で各々の時間の使い方ができるようにしている。3人掛けのソファがあり、日当たりの良い時間帯はゆったりと過ごせるスペースになっている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に、ご家族に説明し馴染みの家具を持ってきていただけるようにしている。箸や食器類など本人が好んだり使い慣れたものを、使用している。	畳の和室が2つ、洋室は7つ(1ユニット)あります。エアコン、カーテン、ベッド、洗面台、クローゼットが備え付けられています。歌の好きな人はラジオカセットを持ち込むなど、それぞれ自由に居室をつくっています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	危険となるものは扱い・管理に注意して、安全が確保されるように配慮している。カレンダーに予定を記入し、お客様にわかるように工夫している。		